

団体名	広島県	所属	働く女性応援プロジェクト・チーム	他団体等との連携	企業
連絡先	両立支援グループ (082)513-3419				

取組事例名	イクメン企業同盟	取組期間	平成26年3月～
--------------	----------	-------------	----------

取組の概要 ～ イクメン企業同盟の結成

男性の育児参加を応援し、働き方の見直しに取り組む企業経営者で構成する「イクメン企業同盟（子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性、また将来そんな人生を送ろうと考えている男性を応援する企業経営者の同盟）」を結成し、企業ぐるみでイクメンを増やす取組を加速するとともに、社会全体の男性の意識改革や行動変容を促すことにより、男性も積極的に育児に参画する社会をつくっていく。

取組の背景 ～ 男性の育児参画が進んでいない

女性の社会参画を促進し、安心して仕事と子育てを両立できる環境を整備するためには、男性の育児参画が欠かせない。

男性の育児休暇については、平成24年度には取得率が7.2パーセントと大幅に上昇しているが、それでも未だ全体の1割に満たない状況。男性の育児参画はまだ進んでいない。

取組のねらい ～ 男性の積極的な育児参画の実現

企業ぐるみでイクメンを増やす取組を加速するとともに、社会全体の男性の意識改革や行動変容を促すことにより、男性も積極的に育児に参加する社会をつくっていく。

取組の具体的内容 ～ イクメン企業同盟の結成

1 活動内容

- (1) 企業経営者の意識改革や職場の働き方の見直しを行うための広報活動
- (2) 自社のイクメン推進の取組紹介や県内企業への普及
- (3) 男性の育児休業取得促進など自社のイクメン推進の取組実施
- (4) 社会全体の男性の意識改革や行動変容を促すための活動など

2 結成日

平成26年3月25日（火）

3 メンバー

同盟の趣旨に賛同し、広く活動する意欲のある企業経営者
（子育て中か否かは問わない）



(イクメン企業同盟結成式)

取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 企業ぐるみで取組が必要

子育て期の男性は労働時間が長く、家事・育児時間が短い現状があるが、労働時間の短縮など働き方の見直しについては企業ぐるみの取組が必要である。

創意工夫した点 ～ 企業経営者を同盟メンバーに

男性が育児、家事に参画できるようにするには、男性の働き方の見直しが必要。この取組には、企業のトップの方針決定、実践が効果的である。そこで、イクメン企業同盟のメンバーを企業経営者とし、参加を呼びかけ、メンバーとなった経営者は自社でのイクメン応援の取組を進めていくとともに、県内の他企業への普及を進めていく。

取組の成果（効果） ～ メンバーが32名に

平成26年2月にメンバーを公募したところ、3月の結成時には20名のメンバーが集まった。その後、12名が新たに加盟し、32名（H26.10.15現在）となった。メンバーそれぞれに、自社での取組を進めている。

今後の展開 ～ イベント開催などにより同盟の趣旨をPR

同盟メンバーを拡大するとともに、県内企業の取組を推進するため、イベントの開催やメンバーの活動等を通じて、同盟の趣旨を広く伝えていく。

区分	実施内容
同盟PRツールの制作	・同盟趣旨を記載した名刺、ピンバッチ、PRビデオ、Webサイト、フェイスブック、チラシ等の制作
同盟の趣旨のPR	・10月19日（日）ひろしまイクメンサミットの開催（メンバーによる取組事例の発表、基調講演などを行い、企業経営者・企業の意識改革、行動変容を促す） ・新聞等の媒体への同盟趣旨の掲載 ・企業経営者の集まりへのキャラバン実施（メンバー所属の集まり等での同盟のPR）
同盟内の情報共有	・例会の開催（メンバーの活動報告、取組事例の共有など、情報交換の場） ・メンバーへのメールマガジンの配信

他団体へのアドバイス ～ 同じ立場からの働きかけ

企業経営者の意識を変え、行動変容につなげるには、行政からだけでなく、同じ立場である企業経営者から働きかけを行うと効果があるのではないかと考える。